科目ナンバリング													
授業科目名 * 本訳 > 外国文献講読(法・英) I -E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Law, English)I-E1						担当者所属 職名・氏名 職名・氏名				教授 須田 守			
群	人文・社会科学科目群 分野(分類) 外目									使用言語 日本語			
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ		授業界	業形態 演習(対面授業科目)			目)		
開講年度・開講期	2025 •	前期	曜時限火	5		配当	学年	2 回生	以上	対象学	生	全学向	

[授業の概要・目的]

本講義では、インドの公法学者の手になる比較行政法研究の書、Mahendra P. Singh, German Administrative Law in Common Law Perspective -2. ed.-, Springer, 2001から、General Principles of Judicial Reviewの章を精読する。

本書は、わが行政法及び行政法学がその骨格レベルで多くを負っているドイツ行政法を、コモンローの世界に属する著者が外国法として解説するものである。権力分立システムの一角をなす行政の活動は、裁判所によるコントロールの対象となる。では裁判所は、いかなる原理に基づき、何を、どのように審査するのだろうか。本講義で取り上げる箇所では、裁判所による行政統制の基本的な考え方の叙述を通じて、行政法や公法学の基礎概念が説明される。そのため彼の地の行政法学への導入としてはもちろん、専門科目等でわが国の公法学を本格的に勉強していくための一助ともなろう。

[到達目標]

- ・英語で展開される法律論を理解するための、基本的な力を身につける。
- ・本年度より本格的に学ぶ者が多くなると思われる、公法学の基本的な考え方を説明できるように なる。
- ・比較法研究に触れ、自国の法制度を相対化するための初歩的な視点を手に入れる。

[授業計画と内容]

第1回 導入

本講義の内容について概説するとともに、行政法という分野や比較法という取組について若干の説明を行う。また、次回以降の担当者を決定する。参考書についても、全体にかかわるものについてはここで言及する。

|第2回~第14回 文献の精読

担当者の訳文に基づき文献を精読する。第1に、担当者の訳文を素材に読解の精確さについて議 論する。第2に、文献の内容、およびわが国やドイツの行政法についての関連事項を解説しつつ、 受講者全体で議論を行う。

第15回 期末試験

学習到達度の評価を行う。

結果のフィードバックについては別途告知する。

[履修要件]

外国文献講読(法・英)は専門への導入コースなので二回生以上を対象とする。

外国文献講読(法・英) I **-E1(2)**

[成績評価の方法・観点]

期末試験の点数を7割、平常点を3割として評価する。 平常点は、担当箇所の和訳、授業中の発言により評価する。

[教科書]

Mahendra P. Singh 『German Administrative Law in Common Law Perspective -2. ed.-』(Springer) ISBN:978-3-642-07615-2(授業で使用する箇所については、初回授業時にコピーを配布する。)

[参考書等]

(参考書)

授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

著者が何を言おうとしたのかに思いをめぐらせつつ読み進めることを求める。担当箇所の和訳には、 ただ日本語におきかえるのではない、内容の理解が示されていることを求める。

[その他(オフィスアワー等)]

それぞれ担当する訳文の事前提出を求める。したがって、電子メールを使用できることが望ましい。

[主要授業科目(学部・学科名)]